

この1週間ほどで気温がぐんと下がり急に秋らしい気候になりました。3連休の中日だからかいつもより少なめの参加者数でしたが、その分みんなで見たり匂いを嗅いだり音を聞いたりする体験を共有することができました。

里山の家での持ち込み観察項目：カリンの実、カイコ、シンジュキノカワガ

里山の家を出てすぐ東のクスノキの幹でシラヒゲハエトリが見つかり、写真を拡大してみると全身毛むくじやらでした。カエル池の周辺でカゼクサ、アキノエノコログサ、チカラシバなどのイネ科の植物の葉の形状の特徴を手触りで確認しているとクビキリギスが現れました。口が赤いのが特徴で、成虫で越冬します。



シラヒゲハエトリ



カゼクサの観察



クビキリギス

オオオナモミが一株刈り残されていました。北アメリカ原産の外来種で、以前に比べて数が少なくなりました。タラヨウは別名ハガキの木と言われ、小枝で字を書くとくっきりと残りました。ミスヒキの花びらに見えるのは萼だそうです。花が終わるとめしべの先がカギ状に伸びてひつつきむしになるとのことでした。



オオオナモミ



字を書いたタラヨウの葉



ミスヒキの花

畑ではイモキバガの幼虫がヒルガオ科のクウシンサイの葉を巻いて糸で綴り、巣にしていました。クウシンサイにはナカジロシタバの幼虫がついていました。畑ではほかにナカグロクチバの幼虫も見つかりました。



イモキバガの幼虫



ナカジロシタバの幼虫



ナカグロクチバの幼虫

畑の脇でヌマガエルが飛び跳ねるのを子どもたちが追いかけていました。ラッカセイは花が終わり子房が地面に向かって長く伸びているものを観察することができました。「落花生」とは実のできる様子をよく言い表していると感心する声が聞かれました。畑の上段ではカラスウリとスズメウリの実を観察しました。



ヌマガエル



ラッカセイ



カラスウリ(右)とスズメウリ



上段の畑ではアオイ科の植物が栽培されていました。**ワタ**は実がはじけて白い綿毛がボール状についていました。**ローゼルの花**は淡いピンク色で、たくさんの実がなっていました。所々で見られた**コミカンソウ**は繁殖力の強い雑草として嫌われがちですが、小さな実をつけた姿は多くの参加者の目に可愛らしく映ったようです。



ワタの実



ローゼルの花



コミカンソウ

畑の周辺では**セアカヒラタゴミムシ**が数頭捕獲されてケースに入れられ、蓋を開けると強烈な酸っぱい臭いがしました。**ニホンアカガエル**が姿を現し観察することができました。つどいの丘ではヤマノイモを食草とする**キイロスズメの幼虫**に刺激を与えると顔を引っ込めて静止する様子が紹介されました。



セアカヒラタゴミムシ



ニホンアカガエル



キイロスズメの幼虫

クチベニタケの頭の部分を押しと胞子が放出されました。**ススキの花**が満開で、黄色いおしべが並んでぶら下がり風に揺れていました。シンジュの葉では**シンジュキノカワガの幼虫**が観察できました。捕らえられた**マツムシ**はメスで、この観察会では久しぶりの登場でした。**アメリカセンダングサ**と**コセンダングサ**の花が隣り合って咲いていました。花の周囲の苞の有無が区別点です。最後に**ヒメジュウジナガカメムシ**の大集団を観察しました。このように集まるのは集合フェロモンの働きによるとのことです。



クチベニタケ



ススキの花



シンジュキノカワガの幼虫



マツムシ(♀)



アメリカセンダングサ(右)と
コセンダングサ



ヒメジュウジナガカメムシ

平和公園での観察項目: ウンモンズズメのフン、ケヤキ、ハラビロカマキリの卵鞘、モリチャバネゴキブリ、シラヒゲハエトリ、ツチイナゴ、ツバメシジミ、マユタテアカネ、ニクバエ、キンバエ、イエバエ、カゼクサ、ヘリチャハゴロモ、クビキリギス、コバネイナゴ、ススキの葉、マサキの実、イセノナミマイマイ、オオオナモミ、ヒガンバナ、キタキチョウ、アオバハゴロモ、タラヨウ、ジョロウグモ、モチツツジの忘れ花、オオスズメバチ、トビズムカデ(♂)、アバマキのドングリ、ミズヒキ、ハラオカメコオロギ、クウシンサイ、サツマイモ、ラッカセイ、イモキバガの幼虫、ナカグロクチバの幼虫、ナカジロシタバの幼虫、ヌマガエル、ワタの実、ローゼル、オクラ、カラスウリ、スズメウリ、ヤマトシジミ、ムネアカハラビロカマキリの卵鞘、エンマコオロギ、側溝の生きもの(ミミズ、ムカデ、ゴミムシ、ダンゴムシ、ワラジムシ、フナムシ)、センチコガネ、キタキチョウ、ヒメジャノメ、ニホンアカガエル、ジュズダマ、ムクノキ、ヤマノイモ、キイロスズメの幼虫、クチベニタケ、ススキの花、ヨモギの花、ツルマメ、ヌカキビ、アキノエノコログサ、アキノノゲシ、エビスグサ、ベニバナボロギク、シンジュキノカワガの幼虫、カナムグラ、イシミカワ、コセンダングサ、アメリカセンダングサ、マツムシ(♀)、ツクツクボウシの抜け殻、ウラナミシジミ、ヒメジュウジナガカメムシ、キバラゴマダラヒトリ、モズの声